

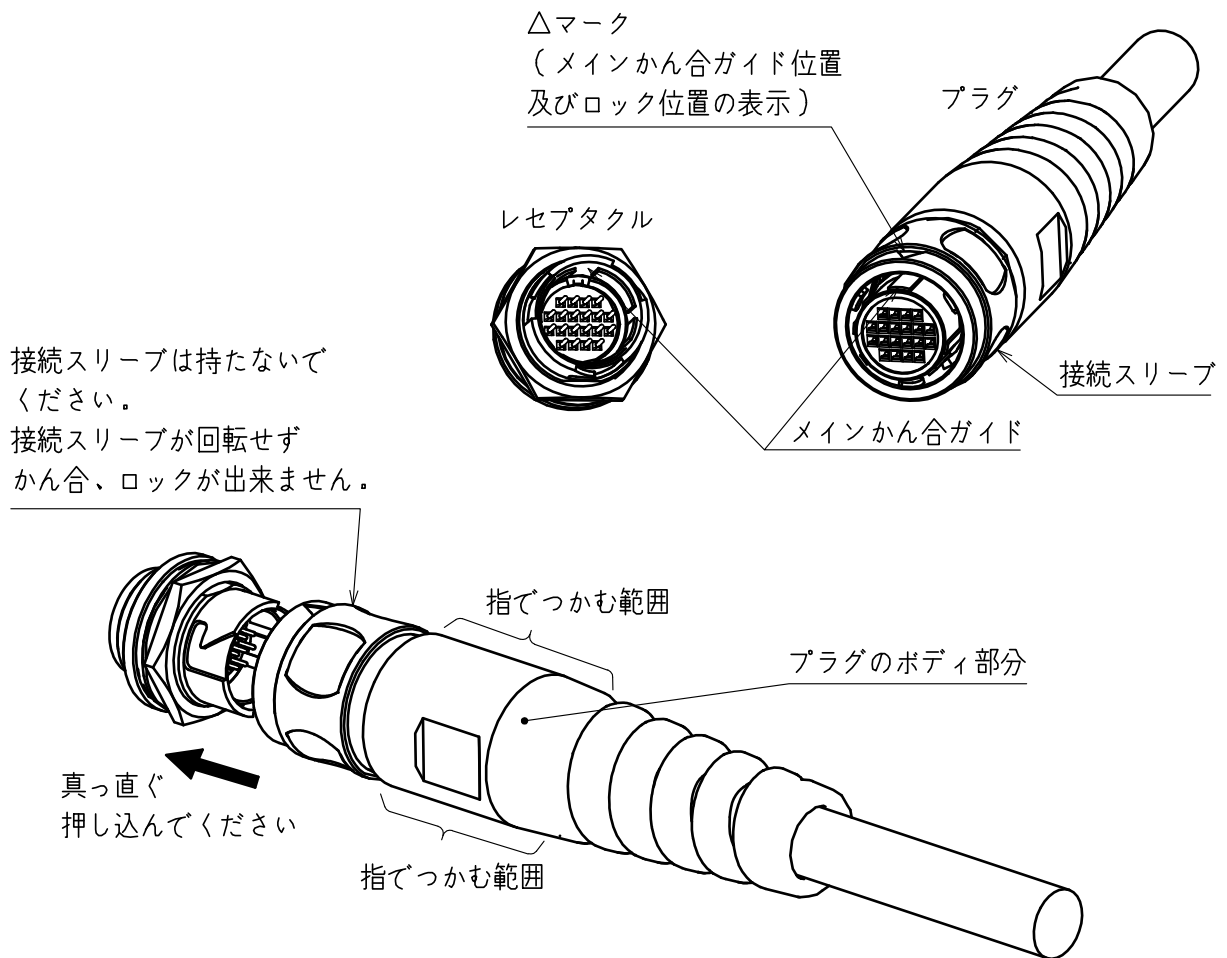
1. 適用範囲

本指定書は、HR22Kコネクタの取扱（操作）方法について規定します。

2. かん合、離脱方法

(1)使用前の確認      コネクタ各部に破損、変形、ひび、部品の緩みがないことを確認してください。  
 コネクタのかん合面に異物や水分等の付着がないことを確認してください。

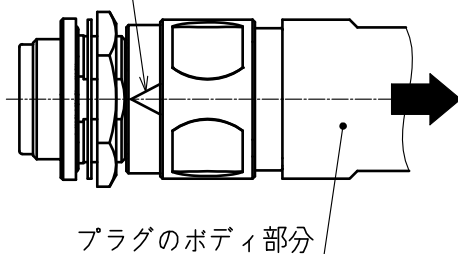
(2)かん合方法      下図に示すプラグのボディ部分を持ち、メインかん合ガイドを合わせて  
 真っ直ぐ「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△ 1	DIS-C-00010346	HY. KISHI	KI. NAGANUMA	20220228
TITLE			<b>HRS</b> HIROSE ELECTRIC CO., LTD. APPROVED TP. KOMATSU 20211021 CHECKED KI. NAGANUMA 20211018 CHARGED HY. KISHI 20211018 WRITTEN HY. KISHI 20211018	
HR22Kコネクタ取扱説明書				
TECHNICAL SPECIFICATION				
ATAD-C0494-00				
			△	1/3

### (3) ロック状態の確認

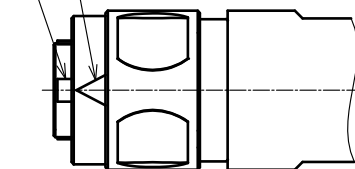
ロックが掛かっている場合は、  
△マークがメインかん合ガイドの  
軸線上の位置にあります。



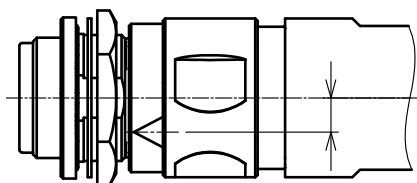
プラグのボディを  
持って、真っ直ぐ  
引っ張り (30N以下)  
抜けないことを確認  
してください。  
ケーブルは引っ張ら  
ないでください。

メインかん合ガイド

△マーク

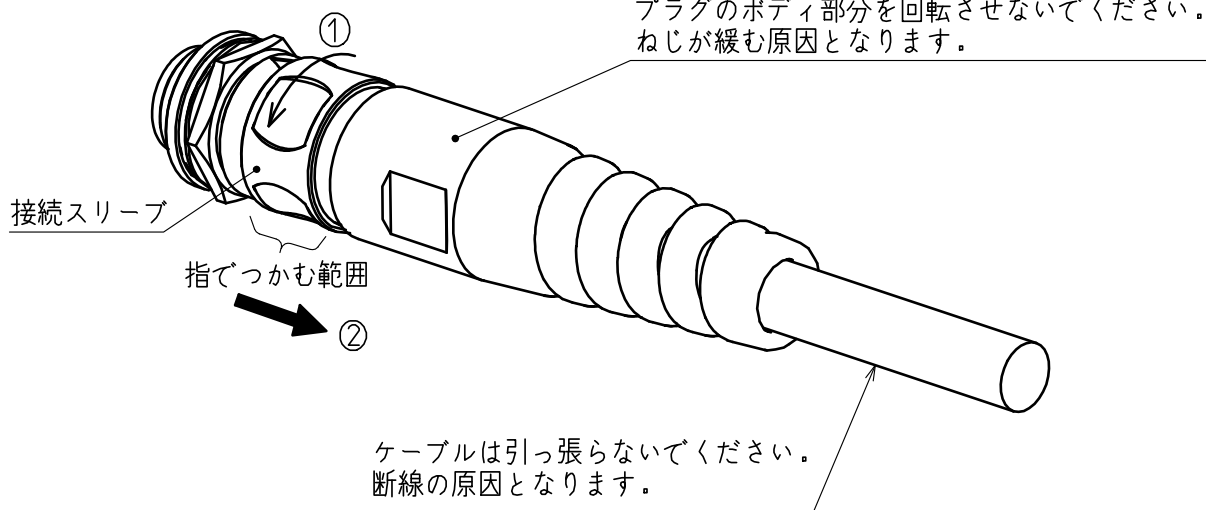


### ロックが完全に掛かっていない状態



△マークがズレている場合は半かん合状態で  
ロックが掛かっていないことが考えられます。  
「カチッ」と音がするまで更にプラグを押し込み  
△マークがメインかん合ガイドの軸線上の位置に  
来ていることを確認してください。

- (4) 離脱方法
- ①プラグの接続スリーブを反時計廻りに突き当たるまで回します。
  - ②接続スリーブを回した状態で、真っ直ぐ引っ張ります。  
プラグを引っ張るときは、こじったり、ロックが完全に解除されていない  
状態で無理に引き抜いたりしないでください。





### 3. レセプタクル実装時の注意事項

#### (1) リード線の取り回しについて

レセプタクルに接続したリード線はたるませてください。

リード線が強く引っ張られた状態で固定されると、断線や端子の変形や抜け等が発生する恐れがあります。

#### (2) リード線を束ねる場合について

結束バンド等を使ってリード線を束ねる場合は、結束後にリード線が引っ張られないよう十分距離をとり、リード線をたわませた状態を維持してください。

(1) リード線の取り回し時

(2) リード線を束ねる場合

